

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

四十一回生修学旅行 北海道サホロへ

一月二十六日(土)～二十九日(火)、四十一回生が三泊四日の修学旅行で北海道に行きました。

修学旅行一日目

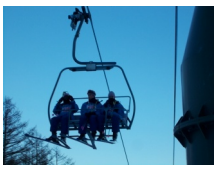
早朝にもかかわらず、たくさんの方に見送られ、バスで伊丹空港に向かいました。伊丹空港を出発し、新千歳空港に到着後、バスに乗りサホロへ。十三時にサホロリゾートホテルに到着しました。

更衣を済ませスキー班ごとに集合し、開講式を行いました。そして、足慣らし講習を行った後、リフトに乗りゲレンデへ。初めてのスキーに悪戦苦闘しながらも生徒たちは楽しめました。見学者は、ワカサギ釣りに行き、釣った魚をその場で食べました。



夕食はバイキング形式。美味しそうな食材が盛りだくさんで、みんな何度もおかわりをしていました。その中で修学旅行中に誕生日を迎える生徒三名の誕生会を行いました。少し余興を挟んで行ったので三名は驚いてたようですが、最後はみんなのハッピーバースデーの大合唱でした。また、今回の修学旅行のしおりの表紙をデザインしてくれました。生徒にも旅行社からのプレゼントが贈呈されました。

修学旅行二日目 朝の気温はマイナス十三℃と非常に冷え込みが厳しかったですが、天候は良好。バイキング形式で朝食を食べた後、スキー講習Iを行いました。初心者の生徒も徐々に慣れてきて楽しんで滑っていました。上級班はゴンドラに乗って山頂まで登っていました。昼食に牛丼を食べた後、スキー講習IIを行いました。午前に比べると風が強く、リフトが一部



運転停止するという制限のある中でしたが、生徒たちは講習Iで学んだことを実践したり、気分転換に雪遊びをするなど充実した時間を過ごしました。講習II終了後、スキー班によるフリー滑走を行いました。リフト一部停止の影響で緩斜面のコースのみの使用でしたが、生徒たちは仲の良い友達と一緒に滑ったり、自分のペースで滑ったりしていました。見学者は、午前中にゴンドラで山頂まで登り、そこから見える雄大な景色を堪能しました。その後、帯広に移動して有名店を巡り、豚井とスイーツに舌鼓を打ちました。夜にはレクリエーションとして、ゲレンデにて打ち上げ花火を鑑賞しました。生徒たちは必死にカメラを向けて写真や動画を撮りつつ見入っていました。



分転換に雪遊びをするなど充実した時間を過ごしました。

修学旅行三日目 朝食後、最後のスキー講習を行いました。短時間で指導していただいたことを活かして上手に滑っていました。終わりの時間が近づくと、「もつと滑りたい！」という声が多く聞かれるほどスキーを楽しんだ様子でした。



見学者は、マイ箸づくり挑戦。作業中は真剣なまなざしで集中して取り組んでいました。スキー講習の閉講式では、お礼の挨拶をした四組の河原君が、生徒を代表して修了証を受け取りました。



トを体験した生徒たちも普段はなかなかできない経験をすることができ、非常に楽しそうでした。



昼食後、サホロリゾートホテルをバスで出発し、札幌へ。体調不良者もなくみんな元気でしたが、スキーの疲れからか、バス内ではみんな爆睡でした。札幌では①札幌市内研修②カールディング③スケートの三グループに分かれて研修を行いました。札幌は雪が降っていましたが、市内研修をする生徒は地下道も使いながら札幌の中心街を回りまわりました。普段、雪が降る中散策することはめったにないので、いい経験になったと思います。カーリング、スケート



シャトレーゼガトーキングダムサッポロに到着後、バイキング形式の夕食をとりました。生徒たちは大宴会場の広さに驚いた様子で、入場の際は歓声が上がっていました。スイーツが充実していて生徒たちも満足していました。



修学旅行最終日 最終日は小樽で班別研修を行いました。小樽運河にてクラス写真を撮影してから研修スタート！生徒たちはお土産を買ったり、海鮮井やラーメンを食べたりと小樽を満喫していました。班別研修終了後、新千歳空港に移動し、解団式を行いました。十六時四十五分、新千歳空港出発。生徒たちは疲れしているかと思いきや、意外と寝ている生徒は少なく楽しく過ごしているようでした。伊丹空港に到着し、そこから姫路組と相生組に分かれてバスに乗り、二十一時三十分頃、姫路駅・相生駅に到着しました。



三泊四日にわたる修学旅行も四十一回生百九十八人が一人も欠けることなく終えることができました。生徒たちにとっては忘れられない思い出となったことと思います。